

ムダ削減で、こんなことができる!

これらの削減だけで

議員報酬2割カット

200万円×46人
9200万円

選管の日額制の導入

日額4万×50日×4人
800万円

区長の退職金を削減

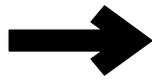
2050万円を4分の1へ
1500万円

費用弁償の廃止

1000万円

削減総額は!

1億2500万円



しがきの提案

私の概算では、1億2500万円の予算内で、下記の4つの公共サービスのうち1つが拡充できます。

①保育ママの拡充

待機児童130人解消

保育ママの経費は子ども1人あたり月7万円、年間84万円です。保育室開設のための基盤整備費も含めて130人を解消。

②高齢者見守りサービス

声かけ訪問サービスで5500人の見守り

江東区では声かけ訪問サービス(乳酸菌飲料無料配達)を行っています。1人あたり年間18700円の経費。板橋区の「見守りネットワーク」登録者5500人への配布が、約1億円で実現できます。

③障がい者の「社会的雇用」

障がい者40人の雇用創出

箕面市(大阪府)では、障がい者の社会的雇用事業を行っています。同様の試算では40人の障がい者の雇用が創出できます。

④区報・議会だより

30万全戸へ配布

10万世帯の情報格差の解消

現在、新聞をとっていない10万世帯には区報と「議会だより」が配布されていません。ポスティング業者で計算すると区報は、3120万円、議会だよりは400万円。総計3520万円で実現します。

福祉トーク

「だれもが住み続けられるまち」

4月2日(土)午前10時~12時

赤塚新町光が丘集会所1階第2洋室

「話し手」佐藤ひろこ・中野区議

しがき伸也の歩み

●1976年 兵庫県尼崎市生まれ。

●2000年 関西学院大学総合政策学部卒業

在学中は、ダウン症や筋ジストロフィーなど障がいを持った方々の自立生活支援活動や、フィリピンで劣悪な住環境におかれている家族への住宅建設支援活動に取り組みました。

●2000年 「国際協力NGO21世紀協会」のインターンとしてフィリピン・ミンドロ島に3年滞在。

山奥に住む先住民民族マンニャン族の子ども達の日常生活支援および教育支援活動に携わりました。

●2004年 青年海外協力隊として西アフリカ・セネガルに2年滞在。

マングローブ植林、識字教室、健康管理活動(指圧指導など)を参加型で行い、住民の生活向上支援に携わりました。

●2006年 NPOフィリピン日系人リーガルサポートセンターに就職(2010年8月退職)。



指圧は隣村からも来るほどの人気

フィリピンと板橋区を往復しながら、第2次世界大戦後、フィリピンに残された日本人移民の子孫の身元捜し及び国籍確認支援活動に携わりました。

●2010年 エコでピースな地球の未来を政治で目指す、『みどりの未来』会員になる

●2011年夏頃 第1子が板橋区で誕生予定。

海外派遣のNGOで学んだこと

大切なのは「助け合い」「分かち合い」「話し合い」

私がフィリピンやセネガルの田舎で出会った人々の多くは、経済的には皆貧しくとも、助け合い、分かち合い、みんなで話し合って心豊かな人生、幸せな生活を求め、それらを手に入れていました。今の日本はどうでしょうか。経済格差、情報格差が生み出す無縁社会の拡大により、豊かな人生、幸せな生活を得ることが、どんどん難しくなっているように感じます。

板橋区も約2.5日に1人が自殺し(08年は132名、07年は156名の自殺者)、孤独死もあとをたたく、うつなどの心の病も年々増加しています。このままではいけない。負の連鎖を止め、すべての区民が幸せを感じて生活できる板橋区へ「助け合い」「分かち合い」「話し合い」をモットーに頑張ります。



がんばれ紫垣くん!

一歩ずつ着実に・・・

- 今泉 信宏(元関西学院大学総合政策学部大学院指導教授) ●高野 敏子(NPO法人フィリピン日系人リーガルサポートセンター事務局長) ●池田 晶子(NPO法人21世紀協会 理事長)
- 原 みゆき(元青年海外協力隊員、セネガル派遣・放射線技師) ●小宮 勇介(農業手伝い)
- 河合弘之(弁護士) ●須貝郁子(埼玉県・和光市議) ●漢人あきこ(東京都・小金井市議)

カンパ募集中

ゆうちょ銀行口座【記号・番号】10020・4・1676621

【口座名称】しがき伸也と元気な板橋を作る会

*一般金融機関から「ゆうちょ銀行」へのお振り込みの場合【口座種別】普通預金 【店名】〇〇八(せせのまち)【口座番号】4167662